

第七次甲府市総合計画における
基本構想(案)について
(第4回審議会資料)

6 甲府市の目指す姿

(1) これからのまちづくりの方向性

甲府市は、武田信虎公による開府から500年以上の歴史において、人同士のつながりが深い文化、雄大な山並みや盆地特有の気候を活かしたぶどう栽培をはじめとした農業が織りなす自然豊かな景観、宝飾など地域資源を活かした産業と観光やスポーツなど、先人たちがこのまちに愛着を持ち、心を紡ぎ大切に築き上げてきた財産を受け継ぐ中、「人・まち・自然」が共生するバランスの取れた住みよい都市を創ってきました。

これからの未来に向けても、地域の持続可能性を確保し、より住みやすく、より良い環境を引き継いでいくためには、人口減少や災害、環境の保護などの課題への継続的な対策と、全ての人が誰一人取り残されない社会的な包摂の実現、地域公共交通をはじめとする都市機能の向上や経済活動の発展、安全・安心で健やかな暮らしの維持、日本遺産を有する豊かな自然環境の保全など、様々な分野における取組を継続していかねばなりません。

加えて、県都・中核市として圏域の発展や山梨の政治経済をけん引していく役割を担う中、リニア中央新幹線の開通を見据えた都市基盤の整備やまちの活力向上、全国トップクラスの年間日照時間を活かした、水素をはじめとする次世代エネルギーの活用によるカーボンニュートラルの実現など、甲府の強みを活かした新たな歴史を創る様々なチャレンジも必要となります。

そして、その取組を支える根幹となる主体が、地域の担い手となる多様な『ひと』であり、『ひと』が成長を続け、自分の持ち味をそれぞれ最大限に発揮しながら、目指すまちの姿の実現に向けて連携・協働していくことで、将来の予測が困難な時代においても、明るい未来を創り上げていくことにつながっていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によるニューノーマル時代の到来、情報通信技術の進展により時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が可能となってきたこと、それぞれの価値観やライフスタイルが多様化するなど時代の変化が進む中で、あらゆる人が尊重され、自分らしい生き方ができ、活躍することができる社会の構築が求められています。

こうしたことから、これからのまちづくりは、夢や希望を抱くことができ、また叶えることができるといった、それぞれの幸せを目指していける居場所として選ばれるための魅力を備えていくことが大切であり、「自分らしく充実した生活を送ることができる」「心の豊かさや幸せを実感できる」、ウェルビーイングの視点を中心としたまちづくりを進めていくこととします。

(2) 甲府市の目指す姿

甲府市は、甲府に関わる全ての人が協働しながら、未来にわたり活躍し、互いを尊重する中で自分らしく生活できるような「幸せを実感できる居場所」を創り上げることを市民と共有する目標として掲げます。

この目標に向けて、『ひと』や豊かな自然など、悠久の歴史の中で先人たちが培ってきた甲府の財産を最大限に活かす中で、変化の激しい時代にあっても『ひと』やまちが共に成長し、魅力にあふれ、そこにまた人が集まるといった好循環を生み出すことにより、希望ある未来を創り続け、多くの人に選ばれるまちの実現を目指します。

7 都市像

私たちのまち甲府市は、豊かな自然や文化、地場産業などを活かし、山梨県の県都として、政治や経済の中心的な役割を担ってきました。これまで六次にわたって総合計画を策定し、目指す都市像の実現に向けて様々な関係者が一体となって取り組んできたことにより、自然豊かで暮らしやすく、活力ある都市が創られ、中核市として今も発展を続けています。私たちは、この地域特有の豊かな財産を未来へ継承するとともに、更に磨きをかけ、新たな魅力を創造していく必要があります。

近年、人口減少・少子高齢化や自然災害の激甚化といった課題のほか、デジタル技術の進展や価値観・ライフスタイルの多様化など、社会経済情勢は大きく変化してきました。このような中でも、甲府に関わる人々が夢と希望を持ち、充実した生活を送ることができるよう、多様な主体がつながり、支え合いながら成長できる、魅力あふれる地域社会を築くことが重要です。

こうしたことを踏まえ、私たちは、市民や事業者、行政など、まちづくりに関わるあらゆる主体が一体となり協働しながら、ふるさとに誇りと愛着を持ち、人と人とのつながりを大切に、互いを尊重する中で自分らしく輝く『ひと』を育み、「幸せを実感できる居場所」となる『まち』を創り上げることを目標とします。

その実現に向けては、地域の特色を活かした魅力を伝承しながら多様な主体が関わり合い、新たな魅力を創造することで、ふるさと甲府への誇りや愛着を一層醸成し、『ひと』が育まれていくとともに、安全・安心で健やかな暮らしを守りつつも、リニア新時代を見据えた『まち』づくりに取り組み、歴史や文化、地場産業など甲府の『魅力』を磨き上げていくことで、誰もが幸せを感じ、夢を持って生き生きと暮らすことができる希望ある未来を創り続け、多くの人に選ばれるまちとなることを目指し、次のとおり都市像を定めます。



幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府

8 基本目標

(1) 基本目標を構成する考え方

都市像： 幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府

○「幸せを実感できる居場所」である甲府市は、

- ◆ 多様な価値観を包摂し、全ての人が自分らしい生き方を選択できる。
 - ✓ 誰もが安全で、安心して快適に生活できる環境が整備されている。
 - ✓ みんなが自分の暮らしに満足感や生きがいを感じている。
 - ✓ 人との交流や地域とのつながりが豊富で、誰もが自分らしく活躍できる。
 - ✓ 全ての人が未来に希望を持ち、夢に向かって歩いていく姿をみんなで応援する。
 - ✓ みんながふるさと甲府に愛着を持ち、心の拠り所となっている。

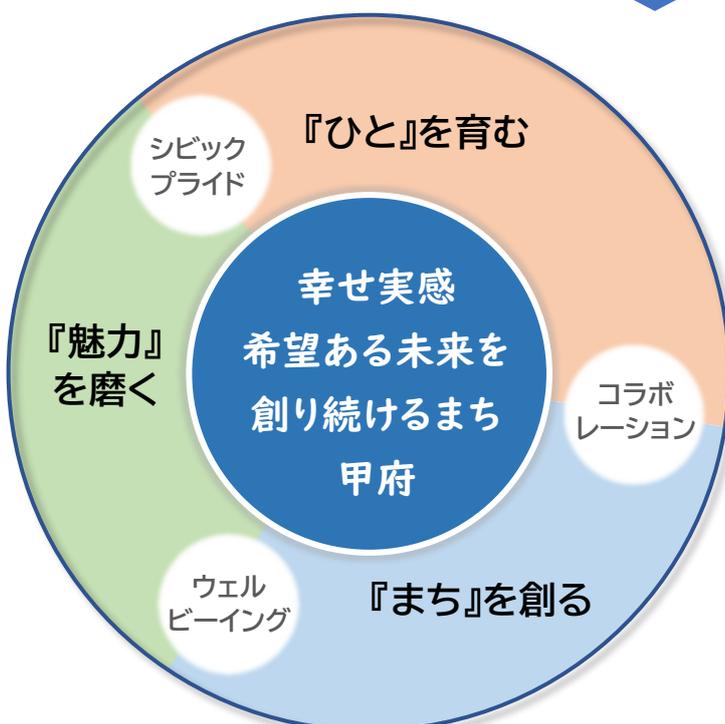
○「希望ある未来を創るまち」である甲府市は、

- ◆ 人と人との活発な交流が生まれ、まちに活力があふれている。
 - ✓ 自然・文化・歴史といった地域資源と技術や知見を組み合わせ、甲府ならではの魅力を創出している。
 - ✓ リニアでつながる大都市圏から様々な人が訪れ、多文化的・多世代的な交流がある。
 - ✓ 国内外から人を惹きつける魅力があり、市民に誇りと愛着が根付いている。
 - ✓ 歴史や伝統を大切にしつつも、新たな変化を楽しめる寛容さがある。
 - ✓ 多様な主体が共創する文化があり、挑戦を後押しする風土が定着している。



次期総合計画策定に向けた基本的な考え方

甲府ならではの『ひと』が活躍できるまちづくり



まちづくりの主体となる『ひと』が育まれ、その『ひと』がつながり、快適で幸せを感じられる『まち』を創り、そこに新たな『魅力』が生まれることで甲府への誇りと愛着が醸成され、また『ひと』が集まり育まれていく。

こうした『ひと』『まち』『魅力』が好循環するまちを甲府に関わる全ての人とともに創り上げ、誰もが未来に夢や希望を持ち、幸せを感じられる甲府市の実現を目指す。

- ※コラボレーション…人の連携・協働
- ※ウェルビーイング…幸せを感じられる環境
- ※シビックプライド…甲府への愛着

(2) 都市像を実現するための3つの基本目標

都市像を実現するため、次の3つの視点から基本目標を定め、まちづくりを進めていきます。

基本目標1 未来に輝く『ひと』を育む

未来に希望が持てる持続可能なまちを創るためには、この地域を主体的に支え、未来に向かって活躍していく『ひと』の存在が重要です。地域で育まれた『ひと』が、愛着を持って主体的にまちづくりに関わりながら『まち』の『魅力』を磨き、その『魅力』が新たな『ひと』を惹きつけることで人口減少が進む中においても、地域全体の更なる成長へとつながる好循環を生み出します。

こうした考えのもと、子どもの健やかな成長に関わる環境整備や学校教育の充実をはじめ、生涯学習、スポーツ、文化・芸術の振興などを通じて、多様な立場の人々が互いの生き方を尊重し合う人権尊重の心や甲府への誇りと愛着を醸成するとともに、夢や希望を持ってそれぞれの舞台上で自分らしく活躍・成長し、ふるさと甲府を胸に、輝いていくことができる『ひと』を育みます。

また、年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、人のつながりを大切にし、紡ぎ続けることにより、地域みんなが『ひと』を育むとともに、多様な主体が連携・協働を進める中で、共に支え合い、成長し合える環境を創ります。

基本目標2 安全・安心で快適な『まち』を創る

地域で育まれた『ひと』のつながりが、市民の安全・安心で健やかな暮らしを守る、快適な『まち』を築く力となります。同時に、安全と快適さを併せ持つ『まち』は、『ひと』の成長と活躍を支え、新たな『魅力』を生み出すための重要な社会基盤となります。

こうした考えのもと、災害や犯罪、交通事故、感染症などから暮らしを守り、誰一人取り残すことなく安全・安心で幸せに暮らし続けることができる、強靱で持続可能な『まち』を創ります。

また、リニア中央新幹線の開業による様々な効果を最大限活かしていくとともに、老朽化したインフラの整備や持続可能な公共交通体系の実現に向けた取組などを進め、甲府に関わる人たちが住んでみたい、住み続けたいと思えるような、快適で利便性の高い生活環境を整え、美しく豊かな自然環境の保全や、次世代エネルギー等を活用した地球温暖化対策に取り組み、都市機能と自然や景観が調和した『まち』を創ります。

基本目標3 都市機能と自然が調和する甲府の『魅力』を磨く

都市機能と自然が調和した安全・安心で快適な『まち』が、将来にわたって発展し続けていくためには、『ひと』が集まりたいと感じる『魅力』を生み出し、活発な交流と賑わいを創出することが求められます。500年以上の歴史を持つ甲府らしい『魅力』を高めることで市内外から多様な『ひと』や産業を惹きつけ、地域への愛着を深め、『ひと』が輝き、『まち』に活力があふれる未来につなげていきます。

こうした考えのもと、自然・歴史・文化・地場産業といった豊かで特色ある地域資源の『魅力』を磨き上げ、『ひと』を惹きつけることにより、幅広い産業の振興や雇用の創出を通じて地域の稼ぐ力を高め、移住・定住者の増加や市街地の活性化、自然や景観の保全など、経済・社会・環境の統合的な取組が更なる『魅力』と地域への愛着を生み出す持続可能な好循環を創ります。

また、自主的・自立的な自治体運営や戦略的なシティプロモーション、山梨県央連携中枢都市圏をはじめとする県都・甲府としてのリーダーシップを発揮した広域的な連携など、地域活力を向上していくことにより『魅力』を磨き上げます。